

第 44 号

平成26年 7 月 1 日

〈発 行〉
(公社) 江田島市シルバ－
人 材 セ ン タ ー

江田島市江田島町中央 1－15－15
江田島市シルバ－ワークプラザ
TEL (0823) 42－5211
FAX (0823) 42－5051

シルバ－ 江田島



江田島町秋月 大行寺の稚児行列
(渡辺政治会員提供)



小跡議長

議事は、昨年に引き続き小跡議長によりすめられ、次の議案が原案通り可決承認されました。

- ・第1号議案「監査報告並びに平成25年度事業報告及び平成25年度決算の承認の件」
- ・第2号議案「定款の一部改正の件」
- ・第3号議案「役員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部改正の件」
- ・第4号議案「理事長に対する権限委任の承認の件」
- ・報告事項として「平成26年度事業計画」、「平成26年度収支予算」等がありました。

平成26年度 定時総会

平成26年の定時総会が、5月29日(木)午後1時30分から江南ふれあいセンターで開催されました。開会の田口理事長の挨拶に続き、田中江田島市長からご祝辞をいただきました。



シルバ－の課題



田口理事長
平成25年度事業の概要と決算見込みについて報告の後、当面のシルバ－の課題として、

1 会員の増員

平成14年に約300人いた会員が現在200人余と大幅に減少している。全シ協でも会員の増員を重点目標に挙げている。

2 就業先の開拓

生活支援サポート事業の従事会

会員数の推移

(平成26年3月31日)

(単位：人)

区 分	男	女	計
平成21年度	170	54	224
平成22年度	180	50	230
平成23年度	179	48	227
平成24年度	174	43	217
平成25年度	161	45	206

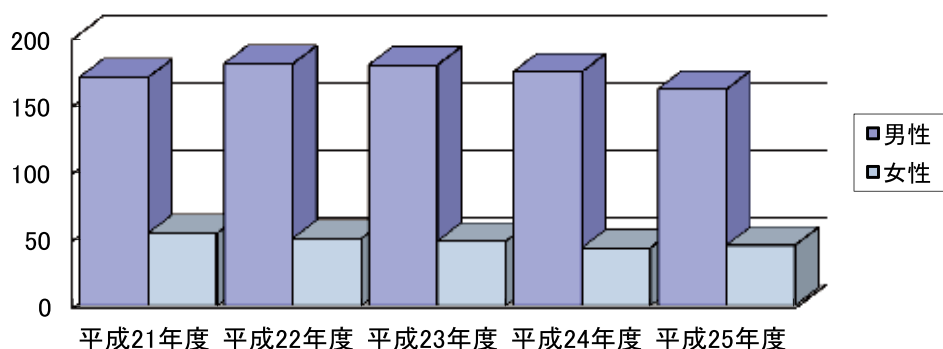
3 安全就業

員の増員及びPR

『安全はシルバ－事業の根幹をなすもの』、常に意識し、楽しく・明るく・元気よく仕事をしましょう。と挨拶がありました。



監査報告をする栗本監事





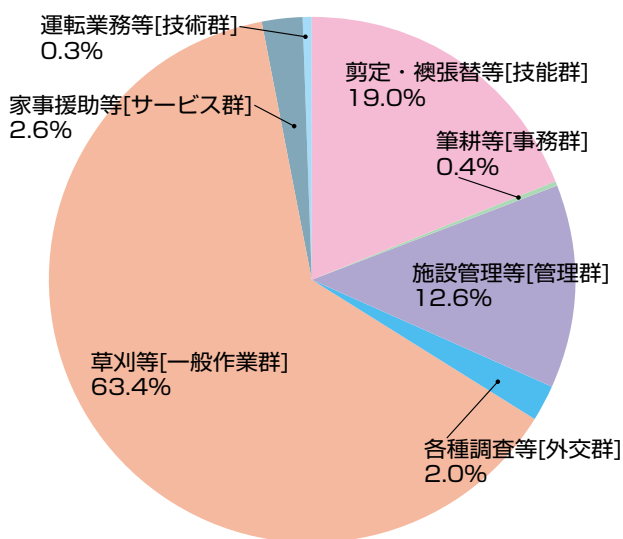
「11月1日で市制10周年を迎え、さらに活力ある地域社会を目指すため、地域を支える皆さんに引き続きご協力をいただき、住みよいまちづくりを進めてまいりたいと思います。今後ともご協力を賜りたいと思います。」と、ご祝辞をいただきました。

**高齢者の果たす役割は
極めて重要**



田中市長

契約金額（¥83,988,937）の内訳



配分金及び就業延べ人員（単位：千円・人日）

事業別配分金				事業別就業延べ人員			
公共	民間	独自	計	公共	民間	独自	計
32,018	30,569	356	62,943	8,429	9,142	172	17,743

平成25年度決算及び平成26年度予算

	平成25年度決算	平成26年度予算
I 収入合計	104,515千円	107,492千円
(1)配分金収入	62,943千円	68,594千円
(2)材料費収入	9,083千円	9,888千円
(3)国市の補助金収入	18,400千円	18,580千円
(4)会費収入	405千円	505千円
(5)その他の収入	13,684千円	9,925千円
II 支出合計	102,968千円	112,607千円
(1)支払配分金	62,943千円	68,594千円
(2)その他の支出	38,781千円	42,203千円
(3)管理費	1,244千円	1,810千円
III 単年度収支	1,547千円	△ 5,115千円

※決算は100円単位を四捨五入し、千円単位で表示しました。

シルバーの会員になりませんか このような仕事をしています

地域社会に 活かす

- 施設の管理・清掃
- 空地・道・農地などの草刈り
- 庭の除草
- 墓地の清掃など



経験・資格を 活かす

- 一般事務
- 宛て名書き
- 家事の手伝い・清掃など



技能を活かす

- 庭木の剪定
- ふすま・障子の張り替え
- 網戸の張り替え
- 大工仕事など





作業現場の確認をする安全委員

安全パトロール



作業現場の安全対策について説明を受ける安全委員

支える仲間



むらなく均一に塗ります

障子・ふすま張替作業

清潔で美味しい水のために頑張っています



作業前



作業後



この時期除草・剪定作業は注文が殺到、お客様には順番待ちでご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

除草・剪定班は大忙し



われら町を



小用港待合所清掃作業

利用者に気持ちよく使ってもらうために



個人宅の清掃作業



長瀬海岸清掃作業

料理講習会開催



平成26年1月28日(火)鷺部公民館で料理講習会を開催しました。開催日の設定が悪かったのか、参加者は15人でした。メニューは、



講習会を開催しました!!

「豚肉の生姜焼き・きんぴらごぼう・かきたま汁」で、塩分控えめ、総カロリー626キロカロリーのヘルシーメニューです。

男性会員は、女性会員のアドバイスや手助けを受けながら楽しく料理しました。



剪定講習会に参加して

平成26年2月12日・13日の2日間植木剪定講習会が行われました。場所は1日目旧秋月小学校2日目は旧切串中学校の校庭、参加者は31名で、講師の宮内先生から1本の本を前にして説明を受けました。

皆さん、実技指導にはとても熱心に聞き入り、質問が多く出て大変盛



況でした。その後5、7名の班に分かれ班長のもと、それぞれ1本の対象となる枝を割り当てられ、実技に取り掛かりました。いざ枝を前にして作業を進めようとする、残すベきか切り捨ててしまうかの判断が難しく鋏を入れるのに戸惑うことの連続でした。

経験のある人は鋏を入れるのも手際よく、リズムカルに枝を切っていました。

班長の指導のもと、良い悪いは別にして少しずつ手際よく鋏の軽快な音が聞こえるようになり、最終的には班長やベテランの方が手を入れ、作業を終えることが



できました。1日目としては、鋏の使い方や枝の要否の判断に少し慣れたという感じでした。
2日目は場所を旧切串中学校に移して行われ、前日と同様各班に分かれそれぞれ割り当てられた木の剪定に取り掛かりましたが、場所が海からの北風が強く高所に登っていることもありとても寒く、また足場も悪く、狭い場所での方向転換や移動など、剪定作業の大変さを実感しました。

作業終了後遠目には枝も短く少くなり、掃除を終えるとスッキリして校庭が生き返った感じで、とても清々しい気持ちになりました。このことが選定作業を通じて得る大きな喜びと満足感だと思いました。

今回の受講で、剪定という作業に対し気持ちがいけそうになり、前向きに取り組んでいけそうな気がしました。機会があればこの経験を活かしたいと思います。

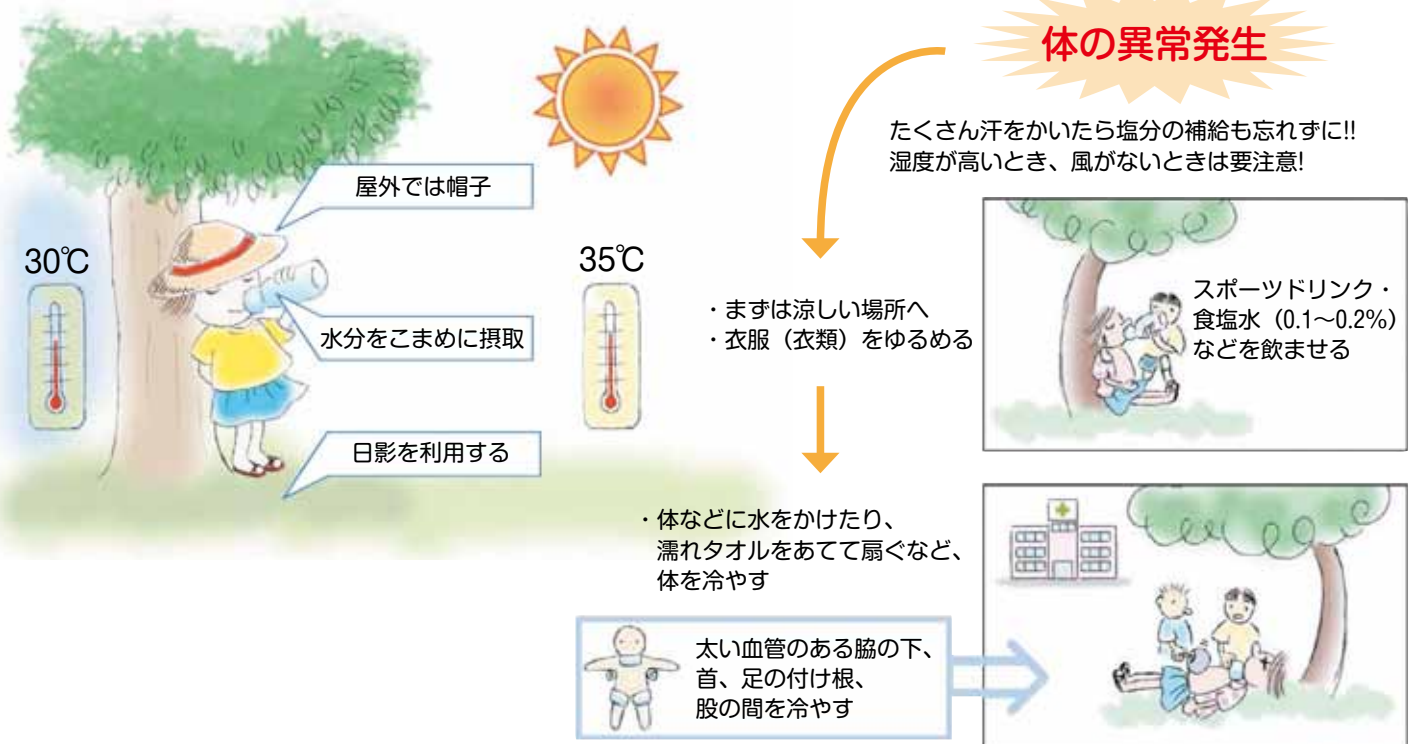
T・U

熱中症を防ぐために

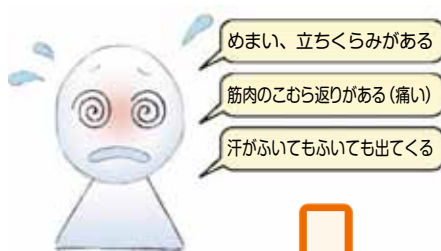
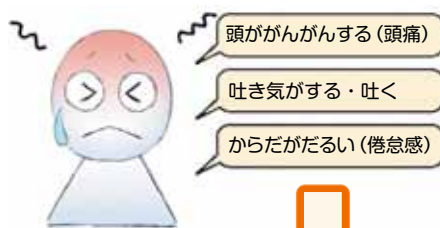
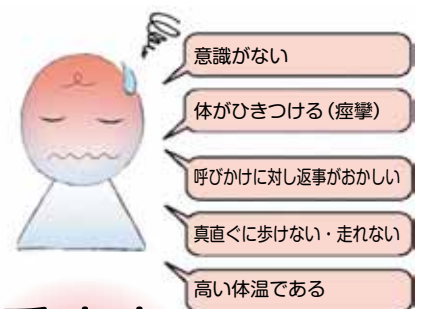
熱中症

熱中症は予防が大切!!

環境省資料による



このような症状があれば…

重症度
Ⅰ度重症度
Ⅱ度重症度
Ⅲ度

水や氷で冷やしましょう

首、脇の下、
足の付け根など

すぐに救急隊を要請する



水分・塩分を補給しましょう

足を高くして休みましょう
水分・塩分を取りましょう自分で水分・塩分を
摂れなければ
すぐに病院へ

「竹炭工房おおがき」のメンバーと活動の紹介

江田島市が広域合併する五年前に、建設された広島県内でも有数の竹炭製造設備です。

今年で15年目を迎える竹炭工房おおがきの主要メンバーは5人です。森合修さんは、設立以来従事しており、製造から設備の点検修理まで多くのノウハウを有し、竹炭工房にはなくてはならない人です。最近、搬入口扉の製作や選別機のバケットエレベータ修理や結束機の修理などを行いました。

田中隆一さんは、九州出身でインターンで江田島市に来て、竹炭工房経験2年8ヶ月ですが、持ち前の根性で竹の伐採から焼成・加工などの製造部門を取り仕切っています。燻煙竹の細工物づくりなど芸術的才能も発揮しています。



竹炭工房おおがきのメンバー

條島康代さんは、好奇心旺盛で何にでも興味を持って取り組み、襖・障子・網戸の張り替えなども経験して、凡そ5年前から最終工程を担当してアイデアを活かしています。現在、商品ラベルや包装の見直しなどを鋭意推進しています。

太田信子さんは、一年未満ですが布製品づくりを担当しています。腕抜き・手甲・ティッシュカバーや頭巾などを作り、イベント出店販売時の人気商品です。



製品見本

大本哲朗さんはまだ一年ですが、竹炭づくりや竹細工の体験教室を始



竹炭で大八車を作る体験教室参加者

め、マスコミなどを活用して竹炭工場の知名度向上を図り、地域社会への貢献に注力しています。今年の4月から竹炭工場の班長をしています。設立当時は、景気も良くて、竹炭製品の売れ行きも良かったようですが、最近はい長いデフレ経済下で苦戦しています。

販売は、江田島市内の10箇所と倉橋町桂浜温泉館で展示販売しています。また直販も行っており、TV（ビフォーアフター）で紹介された床下用が大口案件ですが、最近の新規大口商談として、有機栽培農業法人から土壌改良用に竹炭粒500kgや竹酢液200Lがあります。新商品としてブーツや靴の消臭用を作り好調に販売しています。

平成26年度からは、江田島市との契約形態も変わり、より一層の運営努力をする必要があります。そのた

めに竹炭製品を作って、利用してもらう事はもちろんですが、折角の設備を有効活用する事も、今後の重要なテーマとなります。

例えば、地域との連携を深くして、市内の小中学校の見学や体験教室などの利用促進や、高校生の実社会体験を推進しています。

また、江田島市の体験型観光に協力して、民泊の修学旅行生の体験教室や、一般観光客の受け入れなどにも力を注いでいます。

特に今年は、3月21日から10月26日に開催される、瀬戸内しまのわ2014（広島県と愛媛県の共催で、両県の島と沿岸部の活性化を図ったイベント）の民間企画イベントでも企画して、毎月の体験教室開催などを成功させる、大きな目標に向かって皆で協力して、頑張っているところです。



窯の中で990℃の高温で燃える竹